

炭坑節

【作詞】日本民謡

□□□□□

1.

月が出た出た 月が出た
(ヨイヨイヨイ)
家(ウチ)のお山の 上に出た
あまより煙の 高いので
さぞやおり月さん 煙たかろ
(サノヨイヨイ)

2.

一山二山三山越え
奥に咲いた 八重椿
なちんば色がよくなる 咲いたとて
様ちゃん が通わに や 仇の花

3.

あな たが その 気で 云うのなら
思いた ります 別れ ます
元の娘 十 八に 別 れます
返して くれたら 別 れます

4.

お札を 枕に 寝る よりも
月の射し 込 む あら 家で
主の腕 かか いて な 暮ら した いの りと
私や 抱か れて 暮ら した いの りと

5.

豎坑千尺 二千尺
下りや 様 ちゃん の ツル の 音
ままり なる なら あ の ソル ば で
私も 掘り たる や 黒ダ イ ヤ

炭坑節

【作詞】日本民謡

□□□□■

1.

月が出た出た
月が出た

(ヨイヨイ)

家(うち)のお山の

上に出た

あんまり煙突が

高いので

さぞやお月さん

煙たかろ

(サノヨイヨイ)

炭坑節

【作詞】日本民謡

□□□■

2.

一山二山 三山越え

(ヨイヨイ)

奥に咲いたる 八重椿
なんぼ色よく

咲いたとて

様ちゃんが

通わにゃ 仇の花

(サノヨイヨイ)

炭坑節

【作詞】日本民謡

3.

□□■ ■■

あなたがその気で

云うのなら

(ヨイヨイ)

思い切ります

別れます

元の娘の 十八に

返してくれたら

別れます

(サノヨイヨイ)



4.

お札(さつ)を枕に

寝るよりも(ヨイヨイ)

月が射し込む

あばら家で

主の腕(かいな)に

ほんのりと

私や抱かれて

暮らしたい

(サノヨイヨイ)

炭坑節

【作詞】日本民謡

5.

■ ■ ■ ■ ■
豎坑千尺 二千尺

(ヨイヨイ)

下^(お)りゃ様ちゃんの

ツルの音

ままになるなら

あのそばで

私も掘りたや

黒ダイヤ

(サノヨイヨイ)

炭坑節

【作詞】日本民謡

3.

□□■ ■■

モグラ日の目は

苦手だが

(ヨイヨイ)

山のおいらは粋なもの

坑道(しき)を出るのを

待ちかねて

可愛いあの娘

袖を引く

(サノヨイヨイ)

炭坑節

【作詞】日本民謡



4.

(れんじまど)

連子窓から月がさす

(ヨイヨイ)

主の寝顔の愛おしさ
お風邪召すなと

打ちかける

心こもりし袖布団

(サノヨイヨイ)

5.

■ ■ ■ ■ ■
お前先山仕事なら

(ヨイヨイ)

私や選炭音頭とら

苦労する気と

させる気を

唄でのろけて

共稼ぎ

(サノヨイヨイ)